

平成8年7月3日  
於：東京會館

## 甲府中学・甲府一高 東京同窓会 総 会 資 料

- |                    |                                       |
|--------------------|---------------------------------------|
| 1. 総会式次第           | *同封資料                                 |
| 2. 平成7年度予算／実績      | ①同窓会出席者名簿                             |
| 3. 平成8年度予算案        | ②同窓会誌「日新鐘」                            |
| 4. 物故者氏名           | ③エンターテイメントのご紹介 &<br>歌詞（校歌・ふるさと・夏の思い出） |
| 5. 「東京同窓会積立基金」について |                                       |
| 6. 平成8年度役員、理事名簿    |                                       |
| 7. 会則              |                                       |

### ようこそいらっしゃいました

本日はお忙しいところ、ご出席をいただきありがとうございました。  
皆様のご協力のもと総会、懇親会が盛況のうちに終了することができ  
ますよう、どうぞ最後までよろしく願い申し上げます。  
なにかと至らぬ点が多いかと存じますが、おめでたい席に免じてご  
容赦くださいますことを予め申し添えます。  
会員みなさまのご健勝と、さらなるご発展をお祈り申し上げます。

楽しい今宵となりますよう。。。。。

どうぞごゆっくりとお過ごしください。

当 番 学 年 (33年)(49年)  
当番学年幹事長 笠 井 莞 爾  
実行委員一同

# 甲府中学・甲府一高 東京同窓会 式次第

日時：平成8年7月3日(水)17時30分～  
会場：東京會館 本館『ローズルーム』

司 会 当番学年幹事 (33年卒) 齊 藤 芳 樹  
(49年卒) 清 水 喜 彦

## 第1部 総 会

- |                   |               |           |
|-------------------|---------------|-----------|
| 1. 開会の辞           | 副 会 長         | 伴 野 匡     |
| 2. 会長挨拶           | 会 長           | 渡 辺 喜 一   |
| 3. 議事進行           |               |           |
| (1) 平成7年度会計報告     | 平成7年度幹事(32年卒) | 早 川 正 義   |
| (2) 平成7年度会計監査報告   | 監 事           | 小宮山 優     |
| (3) 平成8年度予算案      | 当番学年幹事(33年卒)  | 樋 川 紘 一   |
| (4) 東京同窓会積立基金について | 副 会 長         | 伴 野 匡     |
| (5) その他           |               |           |
| 4. 来賓紹介と代表ご挨拶     | 甲府一高校長        | 関 口 稔 夫   |
|                   | 同窓会会長         | 太 田 源 一 郎 |
| 5. 閉会の辞           | 副 会 長         | 内 藤 健 二   |

## 第2部 懇 親 会

- |                                    |                  |                |
|------------------------------------|------------------|----------------|
|                                    | 司 会 当番学年幹事(33年卒) | 飯 田 富 美 子      |
| 1. 開会の辞                            | 副 会 長            | 秋 山 哲 郎        |
| 2. 当番学年幹事挨拶                        | 当番学年幹事長(33年卒)    | 笠 井 莞 爾        |
| 3. 物故者に黙禱                          |                  |                |
| 4. 乾 杯                             |                  |                |
| 5. 林ひろみ・川上洋司ショー<br>歓 談             |                  |                |
| (みんなであたきましょう！)<br>・校歌 ・ふるさと ・夏の思い出 |                  |                |
| 6. 万歳三唱                            |                  |                |
| 7. 閉会の辞                            | 副 会 長            | 石 川 真 吾<br>以 上 |

## 東京同窓会 平成7年度予算／実績

項 目	平成7年度予算	平成7年度実績
〔収入の部〕	円	円
1. 同窓会総会参加費	2,920,000 円 名 (男・10,000 × 260) (女・8,000 × 40)	3,136,000 円 名 (男・10,000 × 284) (女・8,000 × 37)
2. 祝 金	100,000	70,000
3. 受 取 利 息		881
4. 日新鐘・広告収入	1,000,000	1,420,000
5. 前 期 繰 越 金	386,841	386,841
合 計	4,406,841	5,013,722
〔支出の部〕	円	円
1. 同窓会総会・懇親会費	2,800,000	2,657,035
2. 役員会・幹事会費	620,000	798,676
3. 通 信 ・ 印 刷 費	400,000	672,360
4. 日新鐘・印刷費	150,000	250,000
5. 広告関係印刷・通信費		80,000
6. 雑 費	200,000	75,632
7. 運 営 基 金		50,000
小 計	4,170,000	4,583,703
次 期 繰 越 金	236,841	430,019
合 計	4,406,841	5,013,722

**東京同窓会**  
**平成7年度実績及び平成8年度予算案**

項 目	平成7年度実績	平成8年度予算
〔収入の部〕	円	円
1. 同窓会総会参加費	3,136,000 円 名 (男・10,000 × 284) (女・8,000 × 37)	3,800,000 円 名 (10,000 × 380)
2. 祝 金	70,000	70,000
3. 受 取 利 息	881	
4. 日新鐘・広告収入	1,420,000	1,600,000
5. 前 期 繰 越 金	386,841	430,019
合 計	5,013,722	5,900,019
〔支出の部〕	円	円
1. 同窓会総会・懇親会費	2,657,035	3,350,000
2. 役員会・幹事会費	798,676	850,000
3. 通 信 ・ 印 刷 費	672,360	750,000
4. 日新鐘・印刷費	250,000	350,000
5. 広告関係印刷・通信費	80,000	150,000
6. 雑 費	75,632	100,000
7. 運 営 基 金	50,000	50,000
小 計	4,583,703	5,600,000
次 期 繰 越 金	430,019	300,019
合 計	5,013,722	5,900,019

**東京同窓会**  
**平成7年度実績及び平成8年度予算案**

項 目	平成7年度実績	平成8年度予算
〔収入の部〕	円	円
1. 同窓会総会参加費	3,136,000 円 名 (男・10,000 × 284) (女・8,000 × 37)	3,800,000 円 名 (10,000 × 380)
2. 祝 金	70,000	70,000
3. 受 取 利 息	881	
4. 日新鐘・広告収入	1,420,000	1,600,000
5. 前 期 繰 越 金	386,841	430,019
合 計	5,013,722	5,900,019
〔支出の部〕	円	円
1. 同窓会総会・懇親会費	2,657,035	3,350,000
2. 役員会・幹事会費	798,676	850,000
3. 通 信 ・ 印 刷 費	672,360	750,000
4. 日新鐘・印刷費	250,000	350,000
5. 広告関係印刷・通信費	80,000	150,000
6. 雑 費	75,632	100,000
7. 運 営 基 金	50,000	50,000
小 計	4,583,703	5,600,000
次 期 繰 越 金	430,019	300,019
合 計	5,013,722	5,900,019

## 物故者氏名

下記の方々は平成7年度総会以降平成8年6月21日までに、ご遺族様からご連絡を頂戴いたしました。「同窓のみなさまによろしく。」とのことでございました。

### ここに慎んで哀悼の意を表します

功 刀 包 雄	(昭和9年卒)	平成7年10月25日	逝去
渡 辺 眞 清	(昭和11年卒)	平成8年2月8日	逝去
今 福 孝	(昭和13年卒)	平成8年3月13日	逝去
山 本 喜 一	(昭和13年卒)	平成8年3月3日	逝去
小 澤 敏 倍	(昭和15年卒)	平成7年8月11日	逝去
伊 藤 庄一郎	(昭和17年卒)	平成5年7月	逝去
湯 山 勉	(昭和17年卒)	平成6年7月31日	逝去
小 坂 萬 雄	(昭和17年卒)	平成7年4月16日	逝去
雨 宮 輝	(昭和17年卒)	平成7年5月	逝去
有 馬 誠 光	(昭和17年卒)	平成8年2月26日	逝去
鷹 野 正 知	(昭和19年卒)	平成7年8月30日	逝去
小宮山 欽 一	(昭和19年卒)	平成7年10月14日	逝去
矢 崎 郁 夫	(昭和19年卒)	平成8年1月7日	逝去
武 井 直 人	(昭和21・22年卒)	平成8年2月18日	逝去
河 西 卓 巳	(昭和23年卒)	平成8年3月27日	逝去
大 島 智 夫	(昭和23年卒)	平成7年5月19日	逝去
原 敏 夫	(昭和33年卒)	平成7年7月14日	逝去
池 川 健 司	(昭和33年卒)	平成6年3月20日	逝去
興 石 宏	(昭和46年卒)	平成8年4月14日	逝去

# 甲府中学・甲府一高 「東京同窓会積立基金」について お知らせとお願い

昨年同窓会総会にて承認され発足いたしました「東京同窓会積立基金」は多くのご賛同をいただいた方々から、既に基金へのご協力を賜っております。

おかげさまで本年の総会準備期間中はこの基金を活用させていただき、本日を迎えることができました。ご協力に感謝いたしますとともに、ここに厚くお礼申し上げます。

## ～ 応募要領 ～

1. 総会の準備期間中の支出をまかなうため同窓会としての資金を持つことを目的とする。
2. 資金は会員有志の寄付によることとし、1口を1万円とする。
3. 資金は「東京同窓会積立基金」と呼称し、その年の同窓会実行委員長が管理する。
4. 実行委員長はその任務が完了したとき、基金を引受け時の金額にもどして、次年度の実行委員長に引き継ぐこととする。
5. 基金の受け付けは下記による。
  - イ 理事会または総会の当日、会場受付に署名簿と基金箱を置いて受け付ける。
  - ロ 上記以外の日の応募は郵便局からの振込みとする。
6. 郵便局の振込口座は下記のとおり。

郵便局名	京橋郵便局
口座番号	00160-5-724615
加入者名	甲府中学一高東京同窓会

※通信欄には氏名、卒業年次を必ず記載してください。また振込み料は加入者（同窓会）負担として下さい。

以上の主旨をご理解賜り、より一層のご協力をいただけますようお願い申し上げます。

以上

# 山梨県立甲府中学校甲府第一高等学校 東京同窓会会則

## 第一章 総 則

### (名 称)

第一条 この会は、山梨県立甲府中学校甲府第一高等学校東京同窓会という。

### (事務所)

第二条 この会は、事務所を会長の指定する東京都内に置く。

### (目 的)

第三条 この会は、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

### (事 業)

第四条 前条の目的を達成するため、この会は次の事業を行う。

- 一、会報及び会員名簿の発行
- 二、各種集会の開催
- 三、その他必要な事項

## 第二章 会 員

### (会員の種類)

第五条 この会の会員を分け次の三種とする。

- 一、普通会员
- 二、名誉会員
- 三、特別会員

- 2 普通会员は、徽典館中学科、山梨県立甲府中学校又は山梨県立甲府第一高等学校（以下母校という。）の卒業生及び母校に在籍した者で首都圏に在住する者並びにこれに準ずる者とする。
- 3 名誉会員は、普通会员のうち、満八十才以上の者とする。
- 4 特別会員は、母校校長及び母校に功労があった者で、総会において推薦された者とする。



### 第三章 役員

#### (役員の種類)

第六条 この会に次の役員を置く。

- |       |      |
|-------|------|
| 一、会長  | 一名   |
| 二、副会長 | 五名以内 |
| 三、理事  | 若干名  |
| 四、幹事  | 若干名  |
| 五、監事  | 二名   |

#### (任 務)

第七条 会長はこの会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 3 理事は、会務を処理する。
- 4 幹事は、理事を補佐し、会務を処理する。
- 5 監事は、会計を監査し、総会に報告する。

#### (選 出)

第八条 会長は、総会において会員のうちから選出する。

- 2 副会長、理事、幹事及び監事は、会員のうちから総会の議を経て、会長がこれを委嘱する。
- 3 理事は、各卒業期毎に、幹事の代表として一名を互選する。
- 4 幹事は、各卒業期毎に、三名以内を互選する。

#### (任 期)

第九条 役員任期はすべて二年とする。但し、重任を妨げない。

- 2 補欠により就任した者の任期は、前任者の残存期間とする。

### 第四章 名誉会長及び顧問

第十条 この会に名誉会長及び顧問若干名を置くことができる。

- 2 名誉会長は、会員のうちから総会の議を経て、会長これを推戴する。
- 3 顧問は、会員のうちから総会の議を経て、会長これを委嘱する。
- 4 名誉会長及び顧問は、会長の諮問に応じ重要事項に参画し、又は役員会に出席して意見を述べることができる。
- 5 任期は役員に準ずる。

## 第五章 会 議

### (種 類)

第十一条 会議は、総会、理事会及び幹事会とする。

### (招 集)

第十二条 総会は、定期総会及び臨時総会とし、定期総会は毎年一回会長がこれを招集する。

- 2 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、及び理事又は幹事の過半数から会議の目的である事項を示して開催の請求があったとき会長がこれを招集する。

第十三条 幹事会は年一回以上、理事会は必要の都度これを開催し、招集は総会に準ずる。

### (議 事)

第十四条 会長は、会議の議長となり議事を処理する。

第十五条 採決を要するときは、出席者の過半数をもって決する。

- 2 可否同数のときは、議長がこれを決する。

## 第六章 会 計

### (経 費)

第十六条 この会の経費は、次に掲げるものをもってこれに当てる。

- 一、会 費
- 二、寄附金
- 三、借入金
- 四、雑収入

- 2 名誉会員については、会費を免除する。

### (会計年度)

第十七条 この会の会計年度は、毎年9月1日に始まり、翌年8月31日に終わる。

## 第七章 雑 則

### (異動通知)

第十八条 会員は、その氏名、住所、職業等に異動があったときは、速やかに会に通知するものとする。

### (会則の変更)

第十九条 この会則は、総会の決議によらなければ変更できない。

## 第36回東京同窓会を開催するに当って

当番学年幹事長 笠井莞爾

昨年7月に当番学年の会合を持って総会準備に入ってから早1年、無事本日を迎えることができました。

御多忙の中、「日新鐘」にご寄稿いただきました方々、「広告掲載」にご協力いただきました会員の皆様方に厚く感謝申し上げます。また、特に下記の実行委員には絶大なるご協力をいただきましたことを御礼申し上げます。

東京同窓会のますますの隆盛を本年当番学年一同祈念申し上げます。

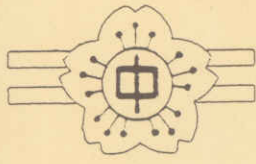
事務局長 飯田富美子  
事務局 秋山要子・三沢千鶴子・有泉演美  
副幹事長 斉藤芳樹・林ひろみ  
// 窪田崇臣・三井純一  
// 田中一昭・清水喜彦  
会計 樋川紘一・師岡庄子  
幹事 竹口 哲・渡辺元成・小野光示  
桜井 実・野中 旭・鷹野幸次  
林 睦生・倉持房江・鶴田町子  
石川雛江・杉本光子

## 校歌

山梨県立甲府中学校

一、  
我等は日本に生れたり  
神の御代より一系の  
皇統戴く我国に  
生れしことのうれしきよ  
みくにの栄えは天地と  
共に窮りなかるべし

二、  
大和島根に山めぐる  
甲斐の国あり水清き  
郷土の歴史顧みよ  
我等の務め軽からず  
見よや南に富士ヶ嶺は  
島国の鎮めと聳えたり  
進むぞ大和ごころなる



## 校歌

山梨県立甲府第一高等学校

一、  
甲斐の国 み中に建ちて  
古へゆ 雄心つたえ  
新しき 世の鑑とし  
勉めてむ この学びやに

二、  
日に新た また日に新た  
いや高き のぞみをもちて  
真なる 理きはめ  
励みなむ 若人われら



## ふるさと

一、  
兎追いし かの山  
小鮒釣りし かの川  
夢は今も 巡りて  
忘れ難き ふるさと

二、  
如何にいます 父母  
つつがなしや 友垣  
雨に風に つけても  
思い出ずる ふるさと

三、  
志を 果たして  
いつの日にか 帰らん  
山は青き ふるさと  
水は清き ふるさと

## 夏の思い出

一、  
夏が来れば 思い出す  
はるかな尾瀬 遠い空  
霧の中に 浮かび来る  
優しい影 野の小道

水芭蕉の花が 咲いている  
夢見て咲いている 水のほとり  
しゃくなげ色に たそがれる  
はるかな尾瀬 遠い空

二、  
夏が来れば 思い出す  
はるかな尾瀬 野の旅よ  
花の中に そよそよと  
揺れ揺れる 浮島よ  
水芭蕉の花が 匂っている  
夢見て匂っている 水のほとり  
まなこつぶれば 懐かしい  
はるかな尾瀬 遠い空





ENTERTAINMENT

**林 ひろみ (ソプラノ)**

東京音楽大学教授

✧プロフィール .....

東京芸術大学卒業。同専攻科修了、藤巻信夫、渡辺高之助、中山悌一、疋田生次郎の各氏に師事。1968年から71年までイタリアのミラノに留学、国立ヴェルディ音楽学院に学ぶ。その間メラーノ国際オペラコンクール、国際ロマン派音楽フェスティバル等に入賞。帰国後は二期会を中心に藤原歌劇団、東京オペラ・プロデュース、日本オペラ協会等で数々のオペラに出演。「ラ・ボエーム」のミミとムゼッタ、「カルメン」のミカエラ、「蝶々夫人」の蝶々さん、「バリアッチ」のネッダ、「外套」のジョルジェッタ、「友人フリッツ」のスーゼル、「セヴィラの理髪師」のロジーナ、「フィガロの結婚」の伯爵夫人、「ドン・ジョヴァンニ」のドンナ・アンナ、「コシ・ファン・トゥッテ」のデスピーナ、「リゴレット」のジルダ、「ねじの回転」の家庭教師、「唐人お吉」のお吉、「修善寺物語」の桂、「シモン・ボッカネグラ」のアメリア、「椿姫」のヴィオレッタ、「オテロ」のデズデーモナ、「ロメオとジュリエット」のジュリエットなどレパートリーは枚挙にいとまなく、その功績は大きい。そのほかモーツァルト、フォーレ、ヴェルディの「レクイエム」、ベートーヴェンの「第九」「ミサソレムニス」、ヘンデルの「メサイア」などコンサートも多い。第7回ウイナーワールドオペラ賞受賞。山人会前田晃文化賞を受賞。東京音楽大学教授。二期会会員。



曲 目

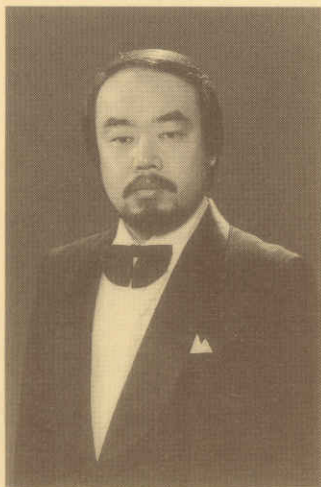
- 歌劇「椿姫」より 乾杯の歌
- 宵待草
- 浜辺の歌
- グラナダ
- オーソーレミーオ

**金井 信**

ピアニスト

✧プロフィール .....

慶応義塾大学卒業後、東京芸術大学声楽科卒業。著名な声楽家の伴奏者として大活躍している。



**川上 洋司 (テノール)**

✧プロフィール .....

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院修了。オペラ研究所修了。藤巻信夫、渡辺高之助、栗林秀信、高丈二、L.グワリーニ、P.M.フェッラーロの諸氏に師事。1984年から87年までイタリアのミラノに留学。85年、86年（ヴェルディの声）国際コンクールに入選。86年6月トーティ・ダール・モンテ国際声楽コンクールでマリオ・デル・モナコ賞受賞。同年10月ベリーニ国際声楽コンクールで第3位入賞（1位なし）。

94年フィレンツェにおいて「ラ・ボエーム」に出演、主役ロドルフォを演じたほか、85年ミラノでコンサート形式による「ラ・ボエーム」のロドルフォ・88年ヴィラフランカで「仮面舞踏会」のリックルドをそれぞれ演じた。84年から87年までミラノをはじめ各都市で80回のコンサートに出演。87年7月ヴェルディの生地ブッセートでの夏のオペラ・フェスティバルに参加。イタリアの各テノール、カルロ・ベルゴンツィの代役で「運命の力」のドン・アルヴァーロを演じ、絶賛を浴びる。

88年二期会公演「カルメン」でドン・ホセ、89年「運命の力」でドン・アルヴァーロ、「椿姫」でアルフレッド、90年「お蝶夫人」でピンカートンと、立て続けに出演し、張りのある美声と端正な歌唱でいずれも高い評価を得ている。92年3月二期会初原語上演による「カルメン」にドン・ホセで出演し、好評を博した。

コンサートでも活躍しており、N響をはじめ、主要オーケストラとベートーヴェン「第九」、マーラーの「交響曲第八番（千人の交響曲）」「大地の歌」、ブルックナー「テ・テウム」、ロッシェニ「スタバト・マーテル」などで共演した。東京芸術大学、東京音楽大学講師。二期会会員。